CASBEE 名古屋 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2016 ｜使用評価ソフト：CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

1-1 建物概要

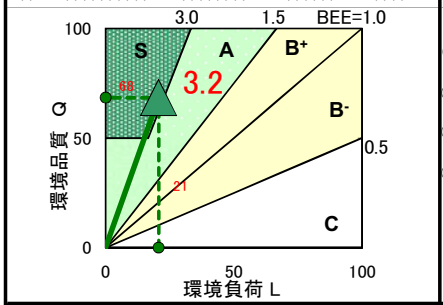
建物名称	愛知県環境調査センター・衛生研究所	階数	地上4F
建設地	愛知県名古屋市北区辻町字流7番6	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、第2種住居地域	平均居住人員	106 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,170 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2017年8月30日
敷地面積	12,532 ㎡	作成者	
建築面積	2,105 ㎡	確認日	2017年8月31日
延床面積	8,147 ㎡	確認者	

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

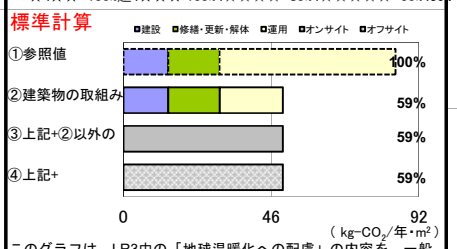
= BEE 3.2 ★★★★★

★:S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C



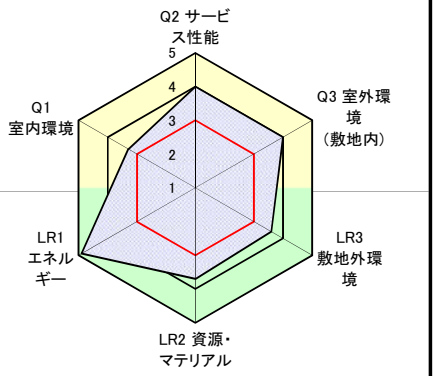
2-2 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

☆:☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆☆ 80%:☆☆☆☆☆ 60%:☆☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

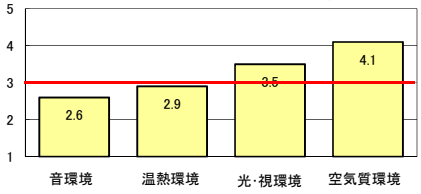
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



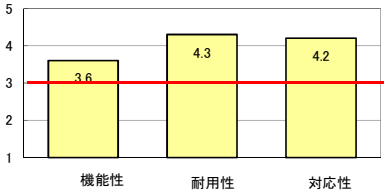
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.7

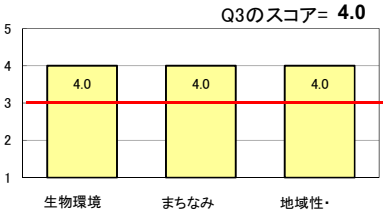
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.3



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 4.0

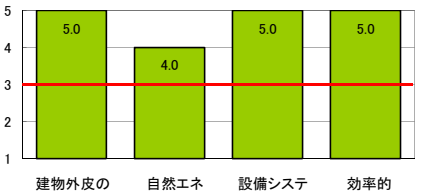


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 4.0

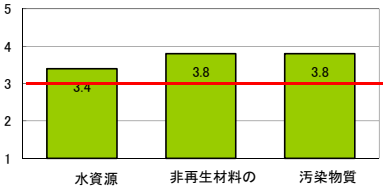


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 4.1

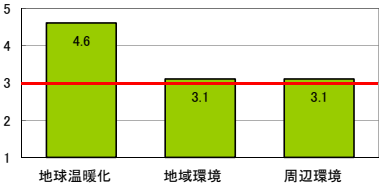
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 4.9



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.7



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.6



3 設計上の配慮事項

総合

ZEBを目指す研究施設としてダブルスキン（メカニカルバルコニー）を採用することで、自然環境からの外皮への影響を小さくする計画。さらに、設備の高効率化を図ることで、エネルギー消費量の抑制を図る。
また、メカニカルバルコニーを南北面外壁にまわし、維持管理が容易な計画としている。

その他

建物屋上、壁面、地上に太陽光発電設備を計画。

Q1 室内環境

ライトシェルフ、光ダクト、太陽光採光システムを設置し、昼光利用を積極的に行う計画。

Q2 サービス性能

維持管理が容易なメカニカルバルコ―を計画。
制振装置を採用し、高い安全性を確保。
構造部材、仕上材を傷めることなく配管更新可能。

Q3 室外環境（敷地内）

敷地内緑化、既設緑地の保存に伴う生物環境の保全に努める。
道路沿いの緑地越しのガラス主体の外観により、低層のつくりとともに地域に溶け込むつくり。

LR1 エネルギー

大部分にダブルスキン（メカニカルバルコニー）を採用することで建物外皮をの熱負荷を抑制。高効率設備を導入することで、エネルギー消費量を大幅に削減する計画。
BEMSの導入、コミッショニングによる効率的な運用を

LR2 資源・マテリアル

節水型器具の採用。
内装、外構にグリーン購入品、エコマーク品を採用。

LR3 敷地外環境

適正な駐車台数と測定車スペース確保、渋滞緩和用に南側に出入り口新設。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される